

各位

2014年2月5日

ヤマハ株式会社

2014年3月期第3四半期（累計）連結業績の概要と

通期連結業績予想及び配当予想の修正について

□ 第3四半期累計業績の概要 — 対前年同期増収、増益 —

2014年3月期第3四半期の累計売上高は、対前年同期で、為替による373億円の増収影響を受け、その他の事業を除く全てのセグメントで増収となり、347億円（12.7%）増加の3,087億円となりました。

営業利益については、対前年同期で、為替による113億円の増益影響を受け、124億円（118.6%）増加の228億円となりました。

営業利益の増加に伴い、経常利益は127億円（132.1%）増加の223億円、四半期純利益は146億円（326.8%）増加の190億円となりました。

□ 事業セグメント別の売上高・営業損益の状況

・ 楽器事業 売上高 1,967億円（前年同期比 11.7%増） 営業利益 159億円（前年同期比 130.0%増）

ピアノは、国内での販売が前年を下回りましたが、北米で好調に推移したことに加え、為替影響もあり、増収となりました。電子楽器は、デジタルピアノが売上げを伸ばしました。ポータブルキーボードは、新興国で伸び悩んだものの、増収となりました。管楽器は、国内および北米で好調に推移しました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、為替による241億円の増収影響を受け、206億円（11.7%）増加の1,967億円となりました。

営業利益は、為替による79億円の増益影響を受け、90億円（130.0%）増加の159億円となりました。

・ 音響機器事業 売上高 794億円（前年同期比 15.9%増） 営業利益 53億円（前年同期比 17.8%増）

オーディオ機器は、対前年増収となりましたが、為替要素を除いた実質ベースでは北米以外の市場で減収となりました。PA機器は、設備音響機器の売上げの伸び悩みが継続しています。ネットワーク機器は、業務用通信カラオケ機器が前年を下回りましたが、ルーターおよび会議システムが売上げを伸ばしました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、為替による123億円の増収影響を受け、109億円（15.9%）増加の794億円となりました。

営業利益は、為替による29億円の増益影響を受け、8億円（17.8%）増加の53億円となりました。

・ 電子部品事業 売上高 148億円（前年同期比 30.7%増） 営業利益 13億円（前年同期 16億円の営業損失）

半導体は、スマートフォンの需要拡大に伴い、地磁気センサー（電子コンパス）およびコーデックが売上げを伸ばし、増収となりました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、35億円（30.7%）増加の148億円となりました。

営業利益は、増収に加えて固定費削減の効果もあり、13億円（前年同期は16億円の営業損失）となりました。

・ **その他の事業 売上高 178 億円 (前年同期比 1.6%減) 営業利益 3 億円 (前年同期比 51.3%減)**

自動車用内装部品は、前年第 1 四半期に納入先のモデルチェンジによる需要があったことから、減収となりました。FA 機器は、国内および中国での受注が好転せず、若干の減収となりました。ゴルフ用品は、国内で苦戦しているものの、韓国を中心とする海外で売上げを伸ばし、増収となりました。リゾート事業は、ほぼ前年並みの売上げとなりました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、3 億円 (1.6%) 減少の 178 億円となりました。

営業利益は、3 億円 (51.3%) 減少の 3 億円となりました。

□ **2014 年 3 月期通期連結業績予想について** — 10 月 31 日公表の業績予想を据え置き —

10 月 31 日公表の 2014 年 3 月期通期連結業績予想は、売上高 4,080 億円 (前期比 11.2%増)、営業利益 220 億円 (前期比 138.7%増)、経常利益 205 億円 (前期比 138.9%増)、当期純利益 180 億円 (前期比 336.6%増) としておりました。

今回の業績予想では、当第 3 四半期業績および今後の事業動向、為替動向等を考慮し、前回の業績予想を据え置きといたします。

尚、昨年 9 月にストライキが発生したインドネシアのギター製造子会社は、1 月より稼働を再開しましたが、その生産休業による影響は、販売の機会損失に加え、操業停止損 (特別損失) 6 億円を今回の業績予想に織り込んでいます。

□ **配当予想の修正について**

本日公表の連結業績予想を勘案し、期末配当予想を前回の 7.5 円から 15 円に修正いたします。これにより、通期の配当予想は前回の 15 円から 22.5 円に修正となります。

注) 今回の業績予想における想定為替レートは、従来の対 US ドル 95 円、対ユーロ 130 円から、対 US ドル 100 円、対ユーロ 135 円に見直しております。

注) 文章中の売上高、損益の数値は、億円未満四捨五入で記載しており、() 内は原則前年同期比増減率です。

尚、第 1 四半期連結会計期間より、従来の「AV・IT」事業を「音響機器」事業に名称変更いたしました。

また、セグメント区分を見直し、「楽器」事業に含まれていた PA 機器を「音響機器」事業に変更しております。

前年同期比の金額、増減率については、変更後の区分方法により計算いたしました。

以上

2014年3月期 第3四半期業績資料

ヤマハ株式会社

2014年2月5日

| | 当第3四半期 ('13/10-12月) | 前年第3四半期 ('12/10-12月) | 当第3四半期累計 ('13/4-12月) | 前年第3四半期累計 ('12/4-12月) | 前回当期予想 (13/10/31発表) | 当期予想 | 前期実績 |
|---------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|------------------------|---------------------------|----------------------|
| | 14年3月期 | 13年3月期 | 14年3月期 | 13年3月期 | 14年3月期 | 14年3月期 | 13年3月期 |
| 売上高 | 1,110億円 | 971億円 | 3,087億円 | 2,739億円 | 4,080億円 | 4,080億円 | 3,669億円 |
| 国内売上高 | 410億円 (36.9%) | 407億円 (42.0%) | 1,232億円 (39.9%) | 1,252億円 (45.7%) | 1,662億円 (40.7%) | 1,665億円 (40.8%) | 1,658億円 (45.2%) |
| 海外売上高 | 700億円 (63.1%) | 564億円 (58.0%) | 1,854億円 (60.1%) | 1,487億円 (54.3%) | 2,418億円 (59.3%) | 2,415億円 (59.2%) | 2,012億円 (54.8%) |
| 営業利益 | 91億円 (8.2%) | 36億円 (3.7%) | 228億円 (7.4%) | 104億円 (3.8%) | 220億円 (5.4%) | 220億円 (5.4%) | 92億円 (2.5%) |
| 経常利益 | 89億円 (8.0%) | 35億円 (3.6%) | 223億円 (7.2%) | 96億円 (3.5%) | 205億円 (5.0%) | 205億円 (5.0%) | 86億円 (2.3%) |
| 当期利益 | 65億円 (5.9%) | 11億円 (1.1%) | 190億円 (6.2%) | 45億円 (1.6%) | 180億円 (4.4%) | 180億円 (4.4%) | 41億円 (1.1%) |
| 為替レート(決済レート) | 99円/US\$ 131円/EUR | 80円/US\$ 99円/EUR | 98円/US\$ 127円/EUR | 80円/US\$ 103円/EUR | 97円/US\$ 127円/EUR | 99円/US\$ (*5) 128円/EUR | 82円/US\$ 103円/EUR |
| ROE(*1) | 10.2% | 2.3% | 10.3% | 2.9% | 7.5% | 7.5% | 1.9% |
| ROA(*2) | 6.0% | 1.2% | 6.1% | 1.6% | 4.5% | 4.4% | 1.1% |
| 1株当たり利益 | 33.8円 | 5.7円 | 98.3円 | 23.0円 | 93.0円 | 93.0円 | 21.3円 |
| 設備投資 (減価償却費) | 22億円 (33億円) | 29億円 (29億円) | 71億円 (93億円) | 87億円 (83億円) | 120億円 (131億円) | 113億円 (127億円) | 138億円 (116億円) |
| 研究開発費 | 57億円 | 56億円 | 165億円 | 166億円 | 230億円 | 229億円 | 221億円 |
| (キャッシュフロー) | | | | | | | |
| 営業活動 | 94億円 | ▲1億円 | 137億円 | ▲47億円 | 265億円 | 288億円 | 78億円 |
| 投資活動 | ▲16億円 | ▲26億円 | ▲41億円 | ▲84億円 | ▲73億円 | ▲144億円 | ▲126億円 |
| フリーキャッシュフロー | 78億円 | ▲27億円 | 96億円 | ▲131億円 | 192億円 | 144億円 | ▲49億円 |
| 期末在庫高 | - | - | 888億円 | 835億円 | 803億円 | 810億円 | 820億円 |
| (要員数) | | | | | | | |
| 国内 | - | - | 6,923人 | 7,355人 | 6,900人 | 6,900人 | 7,143人 |
| 海外 | - | - | 12,936人 | 12,520人 | 13,200人 | 13,200人 | 12,545人 |
| 正社員計(*3) (連結範囲変動による増減) | - | - | 19,859人 (49人) | 19,875人 (170人) | 20,100人 (50人) | 20,100人 (50人) | 19,688人 (173人) |
| 正社員外要員(期中平均) | - | - | 8,395人 | 8,036人 | 8,200人 | 7,700人 | 8,198人 |
| (事業別売上高) | | | | | | | |
| 楽器(*4) | 697億円 (62.8%) | 610億円 (62.8%) | 1,967億円 (63.7%) | 1,760億円 (64.3%) | 2,585億円 (63.4%) | 2,585億円 (63.4%) | 2,355億円 (64.2%) |
| 音響機器(*4) | 306億円 (27.6%) | 269億円 (27.7%) | 794億円 (25.7%) | 685億円 (25.0%) | 1,050億円 (25.7%) | 1,055億円 (25.8%) | 926億円 (25.2%) |
| 電子部品 | 47億円 (4.2%) | 35億円 (3.6%) | 148億円 (4.8%) | 114億円 (4.1%) | 200億円 (4.9%) | 200億円 (4.9%) | 150億円 (4.1%) |
| その他 | 59億円 (5.4%) | 57億円 (5.9%) | 178億円 (5.8%) | 181億円 (6.6%) | 245億円 (6.0%) | 240億円 (5.9%) | 238億円 (6.5%) |
| (事業別営業利益) | | | | | | | |
| 楽器(*4) | 63億円 | 22億円 | 159億円 | 69億円 | 160億円 | 165億円 | 64億円 |
| 音響機器(*4) | 27億円 | 22億円 | 53億円 | 45億円 | 50億円 | 50億円 | 46億円 |
| 電子部品 | 1億円 | ▲7億円 | 13億円 | ▲16億円 | 5億円 | 5億円 | ▲20億円 |
| その他 | 0億円 | ▲1億円 | 3億円 | 7億円 | 5億円 | 0億円 | 3億円 |

(単独の状況)

| | | | | | |
|------|-------------|---------|--------------|-------------|-------------|
| 売上高 | 543億円 | 555億円 | 1,739億円 | 1,802億円 | 2,314億円 |
| 営業利益 | 26億円 (4.7%) | ▲15億円 - | 95億円 (5.5%) | 4億円 (0.2%) | ▲42億円 - |
| 経常利益 | 31億円 (5.7%) | ▲5億円 - | 158億円 (9.1%) | 52億円 (2.9%) | 62億円 (2.7%) |
| 当期利益 | 28億円 (5.2%) | ▲16億円 - | 169億円 (9.7%) | 32億円 (1.8%) | 58億円 (2.5%) |

*1, 2 ROE・ROAIは年換算値

*3 要員数=期末社員在籍数

*4 2014年3月期第1四半期より、AV・IT事業の名称を音響機器事業へ変更し、PA機器を楽器事業から音響機器事業に移動しています。これに伴い2013年3月期の数値も新セグメントに組み替えて表示しています。

*5 4Q為替レート US\$=100円、EUR=135円

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。